

(2020年度)

3 日本史問題 (60分)

(この問題冊子は17ページ、4問である。)

受験についての注意

1. 試験監督者の指示があるまで、問題冊子を開いてはならない。
2. 試験開始前に、試験監督者から指示があつたら、解答用紙の右上の番号が自分の受験番号と一致することを確認し、所定の欄に氏名を記入すること。次に、解答用紙の右側のミシン目にそって、きれいに折り曲げてから、受験番号と氏名が書かれた切片を切り離し、机上に置くこと。
3. 試験監督者から試験開始の指示があつたら、この問題冊子が、上に記したページ数どおりそろっていることを確かめること。
4. 筆記具は、HかFかHBの黒鉛筆またはシャープペンシルに限る。万年筆・ボールペンなどを使用してはならない。時計に組み込まれたアラーム機能、計算機能、辞書機能を使用してはならない。また、スマートウォッチなどのウェアラブル端末を使用してはならない。
5. 解答は、解答用紙の各問の選択肢の中から正解と思うものを選んで、そのマーク欄をぬりつぶすこと。
6. マークをするとき、マーク欄からはみ出したり、白い部分を残したり、文字や番号、○や×をつけたりしてはならない。また、マーク箇所以外の部分には何も書いてはならない。
7. 訂正する場合は、消しゴムでていねいに消すこと。消しきずはきれいに取り除くこと。
8. 解答用紙を折り曲げたり、破ったりしてはならない。
9. 試験監督者の許可なく試験時間中に退場してはならない。
10. 解答用紙を持ち帰ってはならない。
11. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

1 次の文章は、平安時代の国風文化についてまとめたものである。よく読んで、以下の問いに答えなさい。

国風文化については、例えば山川出版社の『詳説日本史B 改訂版』(2019年)に「国文学の発達」の項を立て、次のように説明されている。

9世紀後半から10世紀になると、貴族社会を中心に、それまでに受け入れられた大陸文化を踏まえ、これに日本人の人情・嗜好を加味し、さらに日本の風土にあうように工夫した、優雅で洗練された文化が生まれてきた。このように10~11世紀の文化は、国風化という点に特色があるので、国風文化と呼ばれる。

すなわち、国風文化とは大陸文化のより一層の消化、理解の深化であることが明記されているのである。しかし、直前の項目が「国際関係の変化」であって、遣唐使の停止を契機に正式な国交の断絶が語られていること、平安前期の弘仁・貞觀文化が「(ア)文化」と位置づけられ、国風文化と対照されていることなどもあって、未だ下記『中学校社会科 歴史指導の研究と実践』(1959年)のような、ナショナルな解釈が一般通念となっているのである。

十世紀になると、文化の様相は急激な変化・発展をみせ、文化のあらゆる面に日本的なものが生まれ、ながい間の大陸文化の制約から離れて完全に独立するようになった。いわゆる国風文化が形成されたのである。

近年の研究によれば、寛平6(894)年、(イ)の奏状を経て遣唐使派遣が停止されて以降も、朝廷は積極的に中国の文物を獲得していたことが明らかとなっている。正式な国交に関わる遣唐使とは別次元に、民間の商船は継続的に日本を訪れていたが、朝廷はすでに貞觀年間、入唐使など商船に直接乗り込む使者を創出し、院宮王臣家や富豪層の買い占めに対抗して、必需品を優先的に獲得できる仕組みを整備していた。(イ)が大宰府へ左遷されたのちも、醍醐天皇と、そのもとで左大臣にまで昇った(ウ)によって、天皇が、商船乗組員の歴名、船上載した品目・数量を記した文書、渡海許可証、献上品の実物を親観する「(エ)御覽」が成立し、天皇の交易大権を象徴する儀式として位置づけられた。以降、(エ)と呼ばれた舶来の奢侈品は、王朝文化の醸成に大きな影響を

与えていくことになる。事実、『本朝文粹』をまとめた(オ)の撰らしい『新猿樂記』には、「商人の主領」八郎真人が扱う(エ)として、香料・樹木・染料・陶土・薬品・顔料・皮革・衣類・衣料・楽器など、50品目以上が列挙されてい る。

ところで、戦前より国風文化の精華として位置づけられるのは、(カ)や(キ)による女流のかな文学だが、著者である彼女たちに共通するのも、優れた漢籍の素養であった。『枕草子』のもっともよく知られた章段のひとつ、280段では、(カ)が中宮(ク)の「香炉峰の雪いかならむ」との問い合わせに応じ、御簾を高く上げてみせる。これは、(ケ)の詩文の一節にある、「香炉峰の雪は簾を撥げて見る」に掛けたもので、漢籍の知識に基づく機転にほかならない。一方の(キ)も、『(キ)日記』において、自分が他の女御たちから「日本紀の御局」と陰口をいわれていることについて、謙遜しつつも漢文の知識があり、中宮(コ)に『白氏文集』を講義していることを明かしている。^(g)
^(h)

一般的には、この国風文化全盛の平安中期においても、国家の公式な文章はすべて(サ)で書かれ、男性によって担われることになっていた。しかし、(キ)の「日本紀の御局」といわれることへの謙遜には、少々皮肉が交じっており、「日本紀」に代表される男性文化への批判と解釈することもできる。彼女たちには、中国の高度な文化を我がものとしているのは男性貴族ではなく、本当は私たちなのだという自負があったのかもしれない。

問1 文中の空欄(ア)～(サ)に当てはまるもっとも適切な語句を、次の
中から1つずつ選んで記号で答えなさい。

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| ① 赤染衛門 | ② 和泉式部 | ③ 咸子 | ④ 伊勢大輔 |
| ⑤ 大江匡房 | ⑥ 片仮名 | ⑦ 唐物 | ⑧ 漢風 |
| ⑨ 漢文 | ⑩ 官物 | ⑪ 寛子 | ⑫ 嬉子 |
| ⑬ 彰子 | ⑭ 菅原道真 | ⑮ 清少納言 | ⑯ 宣命体 |
| ⑰ 宋風 | ⑲ 定子 | ⑳ 唐風 | ㉑ 杜甫 |
| ㉓ 白居易 | ㉔ 平仮名 | ㉕ 藤原明衡 | ㉖ 藤原忠平 |
| ㉗ 藤原道長 | ㉘ 藤原基経 | ㉙ 源為憲 | ㉚ 三善清行 |
| ㉚ 紫式部 | ㉛ 慶滋保胤 | ㉜ 李白 | |

問2 下線部(a)について。遣唐使の停止にかかる国際情勢の説明としてもっとも適切なものを、次の中から1つ選んで記号で答えなさい。

- ① 唐では、玄宗の治世に安禄山・史思明が反乱を起こし、洛陽が陥落して燕国が建てられた。蜀へ逃亡した玄宗は退位して肅宗が即位、回鶻に援軍を要請して燕に対峙、中国全土は大混乱に陥った。
- ② 唐は、外には唐に匹敵する帝国へ成長した吐蕃、回鶻と国境問題を抱えて次第に衰え、内には塩の密売業者だった黄巢の反乱に遭って、長安を放棄し蜀へ逃亡、一地方政権へ転落してしまっていた。
- ③ 当初は黄巢に呼応、のち唐へ帰順していた朱全忠が長安を回復、やがて唐の朝廷を掌握して禅譲を実現し、後梁を開いた。
- ④ 後周の世宗柴榮の遺志を継いだ趙匡胤が、禅譲を受けて北宋を建国。弟の趙光義(即位して炅と改名)の2代にわたって、後蜀、南漢、南唐、吳越、北漢を次々と滅ぼし、中華を統一した。

問3 下線部(b)について。(イ)の奏状は、彼自身が編纂し醍醐天皇に献上した書物に収められている。その説明としてもっとも適切な文章を、次の中から1つ選んで記号で答えなさい。

- ① 弘仁5(814)年に成立した最初の勅撰漢詩文集。天応2(782)年～弘仁5年に至る、24人の漢詩91首を収録している。
- ② 天長4(827)年に成立した、全20巻の勅撰漢詩文集。慶雲4(707)年から天長4年に至る、178名の詩・賦・序・対策1000余を収める。
- ③ 承和2(835)年、弟子の真済が編集。詩・碑銘・書簡を、全10巻にまとめてある。
- ④ 昌泰3(900)年、編纂・献上された全12巻の詩文集。前6巻には少年時代から官僚時代に至る漢詩468首、後6巻には散文169編を収める。

問4 下線部(c)について。貞觀8(866)年には、藤原氏による他氏排斥へ至る重大事件が起きている。次のa群から真の主謀者とされる人物を、b群から朝廷から処分を受け排斥された人物を、c群からその事件の名称を、それぞれ1つずつ選んで記号で答えなさい。

[a群]

- ① 藤原冬嗣 ② 藤原良房 ③ 藤原基経 ④ 藤原時平

[b群]

- ① 藤原仲成 ② 伴善男 ③ 橘良相 ④ 菅原道真

[c群]

- ① 平城太上天皇の変 ② 応天門の変 ③ 阿衡の紛議
④ 昌泰の変

問5 下線部(d)について。(イ)の左遷について、次のa群から主謀者とされる人物を、b群から(イ)が天皇に擁立しようとしたとされた人物を、c群からこの事変の名称を、それぞれ1つずつ選んで記号で答えなさい。

[a群]

- ① 藤原冬嗣 ② 藤原良房 ③ 藤原基経 ④ 藤原時平

[b群]

- ① 恒世親王 ② 惟喬親王 ③ 斎世親王 ④ 源高明

[c群]

- ① 承和の変 ② 応天門の変 ③ 阿衡の紛議 ④ 昌泰の変

問6 下線部(e)について。この天皇の治世には、国家的な文化事業として幾つかの書物が編纂されているが、それは何か。適切なものを次の中から3つ選んで記号で答えなさい。

- ① 日本後紀 ② 続日本後紀 ③ 日本文德天皇実錄
④ 日本三代実錄 ⑤ 弘仁式 ⑥ 貞觀式
⑦ 延喜式 ⑧ 儀式 ⑨ 万葉集
⑩ 経国集 ⑪ 古今和歌集 ⑫ 新古今和歌集

問7 下線部(f)について。この書物の説明としてもっとも適切な文章を、次の中から1つ選んで記号で答えなさい。

- ① 永觀3(985)年頃に成立した最初の往生伝。聖徳太子以下、45人の伝記を収める。
- ② 11世紀半ば成立の漢詩文集で、全14巻。嵯峨天皇から後一条天皇の時代に至る名家の詩文427編を、中国の『文選』に倣って編集してある。
- ③ 現存最古の往来物。男子用の手紙文例集で、廷臣生活に必要な内容を変体漢文で綴り、進状と返状を並列して編纂してある。
- ④ 漢文で書かれた隨筆。猿樂の実態を略述したのち、見物する右衛門尉一家に託し、庶民の職業別の生活のありようを詳述する。

問8 下線部(g)について。なぜ(キ)は、陰口をいわれたのか。その説明としてもっとも適切な文章を、次の中から1つ選んで記号で答えなさい。

- ① 当時、漢文に関する知識は、女性が持つべきものではないと考えられたため。
- ② 紀貫之が、女性に扮して平仮名で『土佐日記』を書いたのとは逆に、女性が漢文を用いるなら、男性に扮しなければならないと考えられたため。
- ③ 『源氏物語』が多く漢文で書かれており、一般の宮廷女性には読むことができず、妬ましく思われたため。
- ④ (キ)が常に、漢文を理解できない宮廷女性たちを誹謗中傷し、文章に書き残していたため。

問9 下線部(h)について。次のうち、『白氏文集』に収められた「長恨歌」の影響を受けた作品はどれか。もっとも適切なものを、1つ選んで記号で答えなさい。

- ① 竹取物語
- ② 宇津保物語
- ③ 源氏物語
- ④ とりかへばや物語

2 中世初期の仏教に関する説明である。文章中の番号のついた()部分に下記の用語から適当なものを選び、番号で答えなさい。

(1) 釈迦の死から2000年後に仏教が効力を失い、世界中から仏法が失われるという(1)が広まった。日本では(2)がその年にあたるという説が流布し、人々は釈迦にかわる別の仏である(3)にすがって極楽浄土へ往生する方法や、釈迦の死後56億7千万年後に仏としてこの世に出現すると信じられた(4)に自分の存在を知つてもらうために経文を写して(5)に埋めるなど、仏教の教いから漏れないようにさまざまな信仰的な営みを重ねた。

【選択項目】

- | | | |
|--------------|--------------|-------------|
| ① 末法思想 | ② 下生信仰 | ③ 百王説 |
| ④ 承保3(1076)年 | ⑤ 永承7(1052)年 | ⑥ 寛和元(985)年 |
| ⑦ 大日如来 | ⑧ 観音菩薩 | ⑨ 阿弥陀如来 |
| ⑩ 弥勒菩薩 | ⑪ 経塚 | ⑫ 墓地 |
| ⑬ 井戸 | ⑭ 道路 | |

(2) 死後に極楽往生を願う浄土教は、比叡山を中心にして急速に広まった。10世紀に市聖として京都市中で念佛を広めた(6)はそのさきがけで、地獄への入口にあたると信じられた京都の(7)には、念佛の名号6字にかたどった6体の仏像を口から吐き出す姿の肖像彫刻の名作が残されている。

【選択項目】

- | | | | |
|---------|---------|---------|-------|
| ① 空也 | ② 行円 | ③ 栄叡 | ④ 親鸞 |
| ⑤ 性空 | ⑥ 一遍 | ⑦ 六波羅蜜寺 | ⑧ 六角堂 |
| ⑨ 化野念佛寺 | ⑩ 革堂行願寺 | | |

(3) 比叡山の横川に本拠を置いて、さまざまな經典から地獄のすさまじい様相や極楽往生の方法を集めて(8)という書物にまとめた(9)は、日本の淨土教の元祖とされる名僧で、その著作は中国にも輸出され、高く評価された。横川で行なわれた二十五三昧会は、念佛修行者の結社によって開催された大規模な儀式で、(9)のほか紀伝道に達した文人貴族(10)も参加した。

【選択項目】

- | | | | |
|---------|----------|--------|--------|
| ① 正法念処經 | ② 続本朝往生伝 | ③ 往生要集 | ④ 摧邪輪 |
| ⑤ 源信 | ⑥ 忍性 | ⑦ 凝然 | ⑧ 明惠 |
| ⑨ 法然 | ⑩ 慶滋保胤 | ⑪ 三好清行 | ⑫ 高向公輔 |

(4) 比叡山で修行し、学僧としても知られた(11)は、阿弥陀如来だけを本尊とする(12)と呼ばれる信仰のあり方を提唱し、(13)の開祖とされた。しかし弟子たちが過激な行動に走り、他の仏像を破壊したり、寺院の内部秩序を乱したりしたため、比叡山が朝廷に訴えたことから、1207年に讃岐国に流罪となり、間もなく許されて帰京した後、世を去った。この時、門弟たちも死刑や遠流に処された者が多いが、そのひとりである(14)は越後国に流された後、東国に留まり、念佛の教えを社会の下々の人たちに布教し、後に(15)という教団が形成された。

【選択項目】

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| ① 普照 | ② 親鸞 | ③ 性空 | ④ 一遍 |
| ⑤ 法然 | ⑥ 専修念佛 | ⑦ 他力本願 | ⑧ 二河白道 |
| ⑨ 真言律宗 | ⑩ 時宗 | ⑪ 浄土真宗 | ⑫ 浄土宗 |

(5) 仏法の衰滅に対処するため、もう一度釈迦の在世時に立ち返って、仏教の戒律を考え直し、釈迦の教えを再興しようとする動きが始まった。平治の乱で非業の死をとげた(16)を祖父にもつ興福寺出身の(17)はその中心人物で、世俗との関係を断って(18)に隠遁しながら、平安時代末期の念佛信仰の中心となった法然の教えを厳しく批判するとともに、戒律復興の願いを著作に残した。

【選択項目】

- | | | | |
|--------|--------|--------|-------|
| ① 藤原頼長 | ② 藤原通憲 | ③ 藤原信頼 | ④ 覚盛 |
| ⑤ 貞慶 | ⑥ 忍性 | ⑦ 凝然 | ⑧ 明恵 |
| ⑨ 室生寺 | ⑩ 淨瑠璃寺 | ⑪ 笠置寺 | ⑫ 長谷寺 |

(6) 戒律復興の願いは鎌倉時代中期になって(19)によって受け継がれた。彼は同志を語らって、戒律の伝統が衰えた日本佛教に授戒制度を再興する方法を考え出し、奈良の(20)・東大寺戒壇院などを拠点にして教団を形成した。奈良時代に(21)が伝えた教えとは異なり、密教の作法を下敷きにした教えであることから(22)という宗派名で呼ばれる。

【選択項目】

- | | | | |
|-------|--------|---------|--------|
| ① 普照 | ② 覚盛 | ③ 凝然 | ④ 明恵 |
| ⑤ 叡尊 | ⑥ 鑑真 | ⑦ 西大寺 | ⑧ 秋篠寺 |
| ⑨ 長谷寺 | ⑩ 真言律宗 | ⑪ 融通念佛宗 | ⑫ 南山律宗 |

(7) 鎌倉幕府の元執権(23)は、戒律復興の動きに共鳴し、弘長2(1262)年に老齢の(19)を鎌倉に招き、多数の幕府要人が受戒した。前年に没した幕府の重鎮(24)の菩提寺として建てられた極楽寺が律宗寺院となり、(25)がこの寺に入って、東国の律宗の拠点とした。蒙古襲来が現実化する中で、律僧たちは幕府・朝廷の支援を受けて、架橋や道路・港湾の修築、慈善救済事業などを盛んに行なった。

【選択項目】

- ① 北条時頼 ② 北条時宗 ③ 北条実時 ④ 北条重時
- ⑤ 忍性 ⑥ 凝然 ⑦ 明惠

3 次の文章A, Bを読んで、後の問い合わせに答えなさい。解答は、選択肢(①～⑥)から選びなさい。

A 長門国萩を城下とする外様大藩であるこの藩は、もともと豊臣政權の五大老の一人であった毛利輝元の代には、およそ10カ国を領していた。しかし、関ヶ原の戦いで西軍に加わったため、大幅に削封されて2カ国を残して、1604年に輝元の子秀就によって成立し、以後十四代にわたる。藩政確立のため、検地の実施、塩田や新田の開発、産業の育成などの努力を継続したが、1831年、専売制の強化に反対する大規模な一揆がおこり、これを機に13代藩主(a)は、(b)を登用して天保の改革を推し進め、専売制の緩和や、越荷方の設置などを実施して財政再建を図った。また、1719年には既に創設されていた藩校(c)についても、聖堂、講堂、演武堂といった文武の施設を整備した。(c)では、当初徂徠学が講じられていたが、山県太華が学頭となると、朱子学が重んじられた。山県太華は吉田松陰の著作を、朱子学的合理主義の立場から批判したことでも知られている。(a)は、1861年(d)の「航海遠略策」を採用して公武合体を推進するが、松下村塾出身者の発言力が強まるところ、尊王攘夷論に転換、1863年には山口に藩庁を移した。

問1 下線部の五大老について、五大老に含まれない人物を2人選びなさい。

- ① 前田利家
- ② 徳川家康
- ③ 宇喜多秀家
- ④ 浅野長政
- ⑤ 上杉景勝
- ⑥ 伊達政宗

問2 下線部の専売制について、この藩の専売品を2つ選びなさい。

- ① 紙
- ② 和漢薬
- ③ 蠟
- ④ 塩
- ⑤ 紬
- ⑥ 料表

問3 空欄(a)に入る人物を1人選びなさい。

- ① 時親
- ② 秀元
- ③ 敬親
- ④ 元徳
- ⑤ 隆元

問4 空欄(b)に入る人物を1人選びなさい。

- ① 坪井九右衛門
- ② 周布正之助
- ③ 村田清風
- ④ 玉木文之進
- ⑤ 榎梨藤太
- ⑥ 木戸孝允

問5 下線部の越荷について、越荷を運んだ廻船のなかで、代表的なものを1つ選びなさい。

- ① 北前船
- ② 樽廻船
- ③ 菱垣廻船
- ④ 内海船
- ⑤ 高瀬舟
- ⑥ 楄船

問6 空欄(c)に入る藩校の名称を1つ選びなさい。

- ① 時習館
- ② 日進館
- ③ 弘道館
- ④ 造士館
- ⑤ 致道館
- ⑥ 明倫館

問7 下線部の徂徠学について、荻生徂徠の著書を2つ選びなさい。

- ① 『経済録』
- ② 『童子問』
- ③ 『政談』
- ④ 『藩翰譜』
- ⑤ 『弁道』
- ⑥ 『中朝事実』

問8 下線部の朱子学について、18世紀から19世紀にわたって生きた朱子学者を
2人選びなさい。

- ① 古賀精里
- ② 新井白石
- ③ 木下順庵
- ④ 林信篤
- ⑤ 岡田寒泉
- ⑥ 山崎闇斎

問9 下線部の吉田松陰が、江戸で師事した人物を1人選びなさい。

- ① 勝海舟
- ② 佐久間象山
- ③ 渡辺崑山
- ④ 橋本左内
- ⑤ 江川太郎左衛門
- ⑥ 高橋景保

問10 空欄(d)に入る人物を1人選びなさい。

- ① 賴三樹三郎
- ② 長井雅楽
- ③ 賴山陽
- ④ 梅田雲浜
- ⑤ 横井小楠
- ⑥ 本多利明

問11 下線部の公武合体について、和宮降嫁を実現させたが、坂下門外の変で負傷した老中首座だった人物を1人選びなさい。

- ① 阿部正弘
- ② 堀田正睦
- ③ 安藤信正
- ④ 久世広周
- ⑤ 間部詮勝
- ⑥ 堀田正俊

問12 下線部の松下村塾出身者で、戊辰戦争までに死亡した人物を2人選びなさい。

- ① 高杉晋作
- ② 前原一誠
- ③ 植取素彦
- ④ 久坂玄瑞
- ⑤ 品川弥二郎
- ⑥ 宮部鼎藏

問13 下線部の松下村塾出身者で、明治維新後に総理大臣になった人物を2人選びなさい。

- ① 乃木希典
- ② 山県有朋
- ③ 山田顕義
- ④ 松方正義
- ⑤ 伊藤博文
- ⑥ 青木周蔵

B 常陸国水戸を城下とする御三家の一つであるこの藩は、1602年に戦国大名の系譜をひく佐竹義宣が転封した後、1609年に徳川家康の十一男の(a)が入封して成立し、以後十一代にわたる。二代藩主光圀は、鄭成功の南京攻略に従軍して敗北し、亡命してきた儒学者(b)を招いて教えをうけ、また江戸の中屋敷内に(c)を設置して、『大日本史』の編纂を開始した。彼は民生の安定、水戸学の興起などをもたらした名君のほまれが高く、(d)の異称である黄門は、一般に彼の俗称とされている。九代齐昭は、腹心として、後に安政の大地震で圧死することになる(e)を登用して、藩における天保の改革を推し進めた。(e)は藩校弘道館の設立にも尽力し、その著(f)は、会沢正志斎の(g)とともに水戸学を代表する著作とされる。齐昭は幕末期に、將軍継嗣問題や、条約勅許問題に深く関与したため、藩内では天狗党と諸生党の対立といった深刻な抗争が発生し、桜田門外の変や、天狗党の乱を引き起こした。

問1 下線部の転封について、転封先の地名を1つ選びなさい。

- ① 酒田 ② 鶴岡 ③ 米沢 ④ 盛岡 ⑤ 山形 ⑥ 秋田

問2 空欄(a)に入る人物を1人選びなさい。

- ① 義直 ② 綱条 ③ 頼宣 ④ 頼房 ⑤ 秀康 ⑥ 直政

問3 下線部の鄭成功について、彼が明再興のために大活躍する作品を1つ選びなさい。

- ① 『仮名手本忠臣蔵』 ② 『国姓爺合戦』 ③ 『江戸生艶氣権焼』
④ 『冥途の飛脚』 ⑤ 『武道伝来記』 ⑥ 『心中天網島』

問4 前問の問3の正解にあたる作品の作者を1人選びなさい。

- ① 竹本義太夫 ② 辰松八郎兵衛 ③ 井原西鶴
④ 竹田出雲 ⑤ 山東京伝 ⑥ 近松門左衛門

問5 空欄(b)に入る人物を1人選びなさい。

- ① 姜沆
- ② 王五峯
- ③ 朱舜水
- ④ 宋希璟
- ⑤ 隠元隆琦
- ⑥ 陳員外郎

問6 空欄(c)に入るものを1つ選びなさい。

- ① 彰考館
- ② 修猷館
- ③ 開成所
- ④ 養賢堂
- ⑤ 舍翠堂
- ⑥ 芝蘭堂

問7 空欄(d)に入るものを1つ選びなさい。

- ① 大納言
- ② 中将
- ③ 中納言
- ④ 參議
- ⑤ 右大臣
- ⑥ 右大將

問8 空欄(e)に入る人物を1人選びなさい。

- ① 藤田幽谷
- ② 安積濬泊
- ③ 藤田東湖
- ④ 立原翠軒
- ⑤ 松波勘十郎
- ⑥ 藤田小四郎

問9 空欄(f)に入る著作を1つ選びなさい。

- ① 『弘道館記述義』
- ② 『日本外史』
- ③ 『采覽異言』
- ④ 『留魂錄』
- ⑤ 『柳子新論』
- ⑥ 『諸夷問答』

問10 空欄(g)に入る著作を1つ選びなさい。

- ① 『回天詩史』
- ② 『弘道館記』
- ③ 『講孟余話』
- ④ 『海国兵談』
- ⑤ 『新論』
- ⑥ 『古史伝』

問11 下線部の將軍繼嗣問題について、いわゆる一橋派とされる人物を2人選びなさい。

- ① 島津斉彬
- ② 井伊直弼
- ③ 九条尚忠
- ④ 松平慶永
- ⑤ 水野忠央
- ⑥ 一橋宗尹

問12 下線部の条約勅許問題について、1865年に兵庫沖に来航して勅許を要求した国は次の中のどこか。

- ① 独・仏・米・蘭
- ② 英・仏・米・蘭
- ③ 英・独・露・蘭
- ④ 英・仏・米・独
- ⑤ 英・仏・米・露
- ⑥ 独・仏・米・露

4 次の文章を読んで設間に答えなさい。

問1 次の文章の空欄(ア)～(セ)に当てはまるもっとも適切な語句を、以下の語群から1つずつ選びなさい。

日本は、1945年8月14日に(ア)と(イ)の履行などを定めた(ウ)を受諾し、(エ)，東京湾のアメリカ戦艦ミズーリ号上で降伏文書に調印した。

日本の占領は、すでに(オ)，沖縄などで始まっていた。1945年2月19日、アメリカ軍は(カ)に上陸し、日本軍と激闘の末、3月17日に全島を支配した。アメリカの軍事占領が始まった。さらに3月23日から、アメリカ軍は沖縄県の(キ)を攻撃し、沖縄本島に上陸した4月1日に琉球列島米国軍政府の樹立を宣言した。

日本本土と沖縄の占領は大きく異なる。アメリカの(ク)に置かれた沖縄では、琉球列島米国軍政府のもとで日本の行政権が停止され、1946年に発足した沖縄民政府の代表である知事はアメリカ軍の(ケ)だった。沖縄には日本国憲法も占領改革も適用されなかった。1950年、琉球列島米国軍政府は琉球列島米国民政府となり、サンフランシスコ平和条約発効後には、新たに設置した琉球政府に指示を与えた。1957年、琉球列島米国民政府の長になった琉球列島高等弁務官は、沖縄の「帝王」と呼ばれ、絶大な権限をふるった。琉球政府代表の行政主席が住民の(コ)になったのは(サ)のことであり、本土復帰運動の高まりのなかで、沖縄は1972年に、ようやく本土に復帰する。この間、沖縄の公用語は英語であり、通貨はアメリカ・ドル、交通規制も車は右側通行のアメリカ式であり、本土との往来には(シ)を必要とした。

これに対して、本土の占領は連合軍による(ス)だった。GHQ／SCAP(以下、GHQ)は直接、日本国民に命令を下すのではなく、覚書などの指令を日本政府に伝え、日本政府はそれを日本の法律・命令・規則・通牒などにした。ただし、1947年の二・一ゼネストや阪神教育闘争に代表される(セ)の運動、大阪府公安条例制定などにみられるように、占領がGHQの思惑どおりにならないと判断したときには、GHQの府県軍政部が直接介入した例が少なくなかった。

[語群]

- | | | |
|-----------|----------|------------|
| ① 委任統治 | ② 下関会談 | ③ 12月8日 |
| ④ 硫黄島 | ⑤ 6月23日 | ⑥ ヤルタ会談 |
| ⑦ 尖閣諸島 | ⑧ 不戦条約 | ⑨ 4月28日 |
| ⑩ 外国人登録書 | ⑪ 間接統治 | ⑫ 休戦協定 |
| ⑬ 1968年 | ⑭ ポツダム宣言 | ⑮ 南洋 |
| ⑯ 共同統治 | ⑯ 降伏 | ⑰ 公選制 |
| ⑯ パスポート | ⑳ 9月2日 | ㉑ カイロ宣言 |
| ㉒ 権太 | ㉓ マリアナ諸島 | ㉔ 在日朝鮮人 |
| ㉕ 無条件降伏 | ㉖ 小笠原 | ㉗ 協定統治 |
| ㉘ ワシントン宣言 | ㉙ 慶良間諸島 | ㉚ 在日中国人 |
| ㉛ ベルリン宣言 | ㉜ 北京会談 | ㉛ 8月15日 |
| ㉜ 任命制 | ㉝ 南洋群島 | ㉟ 直接統治 |
| ㉞ 千島列島 | ㉞ 民事統治 | ㉞ 外国人居留許可証 |
| ㉞ 在日台湾人 | ㉞ 1965年 | |

問2 次の文章の空欄(ア)～(サ)に当てはまるもっとも適切な語句を、以下の語群から1つずつ選びなさい。

(ア)下の(イ)9月、サンフランシスコ講和会議が開かれ、首相(ウ)ら日本全権団は、(エ)カ国との間で平和条約に調印した。平和条約には、日本政府が東京裁判と日本内外の連合国戦争犯罪法廷の判決を

受諾し、これらの法廷が科した刑を執行するように明記されていた。これにより、1952年4月28日、日本は(オ)を回復する。そして、同日に二つの条約が発効し、一つの条約が調印された。発効されたのはサンフランシスコ平和条約と(カ)であり、調印されたのは(キ)だった。

平和条約の締結にあたっては、アメリカとの講和を優先する片面講和と、(ク)を含む参戦国全体との全面講和を求める運動とが対立したが、(ウ)が選んだのは、アメリカとの講和を優先し、アメリカの援助のもとで経済復興を急ぐ路線だった。米ソの冷戦下で、日本はアメリカの極東戦略に組み込まれた。

(カ)はアメリカ軍の駐留と基地提供を定め、(ケ)に基づいてアメリカ軍の特権を広範に認め、駐留費用を日本政府が分担することになった。(コ)は保安隊から(サ)には自衛隊の発足につながり、再軍備が進んだ。

[語群]

- | | | |
|----------------|----------|------------|
| ① 日ソ不可侵条約 | ② 1954年 | ③ 在郷軍人会 |
| ④ 日米通商条約 | ⑤ 片山哲 | ⑥ ベトナム戦争 |
| ⑦ 中国・ソ連 | ⑧ 五三 | ⑨ 植民地 |
| ⑩ 日米地位協定 | ⑪ タイ・ラオス | ⑫ 警察予備隊 |
| ⑬ 鳩山一郎 | ⑭ 1953年 | ⑮ 日米安全保障条約 |
| ⑯ 日華平和条約 | ⑰ 経済力 | ⑯ 日ソ基本条約 |
| ⑯ 日ソ戦争 | ⑲ 岸信介 | ㉑ 主権 |
| ㉒ フィリピン・インドネシア | | ㉓ 日中共同宣言 |
| ㉔ 六〇 | ㉕ 朝鮮戦争 | ㉖ 1950年 |
| ㉗ 四八 | ㉘ 日米行政協定 | ㉙ 予科練 |
| ㉚ 1952年 | ㉛ 民主化 | ㉚ 三六 |
| ㉜ 中越戦争 | ㉝ 吉田茂 | ㉞ 1951年 |
| ㉟ 予備役 | | |

